

医療用ストローの販売拡大に

軽く薄く安価なアピール

シバセ工業 自動検査装置などのハード面も

ストロー製造のシバセ工業（株）（浅口市鴨方町六条院中3037、磯田拓也社長、電0865・44・2215）は、自社のストローで医療用の用途開発を開拓する考えを発表した。ストローは軽く薄い上、衛生面で優れているなどの利点を打ち出し、手術時に使用するガイドや、試薬業界向けにスプーンとスポイド、マドラーの役目を担う使い捨て商材などを開発した。飲料用ストローが海外品にシェアを奪われる傾向がある



医療用ストローを持つ玉石一馬営業部課長

中、高品質なメイドインジャバンの品として受注を期待する。同社は飲料用のほか、バネを収納できるストローなどの工業用の用途も獲得するなど、ストローの用途開発を進めている。ストローはポリプロピレン製で軽く薄いなどの特性を持っている。同社は、レーザーセンサーで検品するなど精度面で品質強化を行い、昨年は医療関連企業と共同で手術時にガーゼを腹内に挿入できるようなストローの内側を滑りやすくした「ガーゼ挿入ガイド」を開発した。

医療用ストローの注射針キャップやカテーテルの保護カバー、血液検査機器メーカーと共同で開発したデイスポイドストローは、アメリカ合衆国の政府機関のアメリカ食品医薬品局（FDA）から認可を得た。自社商材としては試薬メーカーと共同で、スプーンとスポイド、マドラーの役目を担う「スポロー」を開発し、

国内2社が導入した。同社には既存20アイテムほどあるが、今後も共同開発を進める考えで、レーザーセンサーで外径測定などの検査が出来るハード面を打ち出し、受注の拡大を図る。「ストローはパイプやチューブより安価という点をアピールし、医療分野を開拓したい。今後も共同開発で医療分野のニーズに応えたい」と語った。

役者の紘毅のアプリ
「紘毅@コレクジ」リリース
HIROPRO
前原企画と協業の第二弾

ITコンサル、ゲーム開発などの㈱HIROPRO（岡山市北区大供2-2-3・1階、成広通義社長、電0866・212・0077）は、(株)前川企画（東京都目黒区）と協業し、スマートフォン内で写真と共に音楽が楽しめるアプリ「コレク